

# ながと

社会医療法人長門莫記念会 長門記念病院

Vol.15

特集  
1

## 理事長・総院長 年頭挨拶

特集  
2

## 副院長就任挨拶

### contents

- 新任医師紹介
- 緩和ケアインタビュー
- 私の看護エピソード
- ながとインフォメーション

2025

# 新春号



# 理事長 年頭挨拶



社会医療法人 長門莫記念会 理事長  
社会福祉法人 双樹会 理事長

## 長門 仁

長門グループの2024年を振り返ってみますと、医療法人では新病棟の開設、緩和ケア病棟の新規立ち上げ、回復期リハビリテーション病棟の増床、社会福祉法人では有料老人ホームの新規運営開始と多くの新しいことに取り組むことのできた1年でした。

長門グループとして、佐伯市の地域包括ケアシステムを支える医療、介護、福祉の提供体制が整ったと考えております。

職員ならびに地域の皆さまに支えられて、これらの事業を行えたことを改めて感謝申し上げます。

ただ、人口減少、少子高齢化が急速に進むこの地域で、今後も医療、介護、福祉サービスを提供し続けることは非常に大変なことで今後の人材確保は大きな問題となっています。

1日あたり2,323人——この数字は2023年の日本における自然減少数(出生数から死亡数を差し引いたもの)です。少子高齢化が顕著な佐伯市において人材不足は、「時間が解決してくれる課題」ではなく構造的な課題です。

年々深刻になる人手不足に対応するためには、グループ全体の業務の効率化は避けて通ることはできません。これを踏まえて、今年の長門グループの目標は「業務の標準化」としました。

人材不足は、一時的な課題ではなく、未来にわたり企業が直面する「長期戦」です。今こそ、組織として持続可能な成長のための土台を整える取り組みを進めていきたいと思っております。

今年の干支は、「乙巳(きのと・み)」です。「乙」は困難があっても紆余曲折しながら進むことや、しなやかに伸びる草木を表しています。「巳」は蛇のイメージから「再生と変化」を意味します。脱皮し強く成長する蛇は、その生命力から「不老長寿」を象徴する動物、または神の使いとして信仰されてきました。

このことから、「乙巳(きのと・み)」は「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられます。

近い将来発生すると予想される南海トラフ地震、毎年のように発生する大規模災害に当院が少しでも地域のお役に立てるように、今年は災害拠点病院の申請を進めてまいります。

2025年も長門グループの「困っている人を助ける」という基本理念を忘れずに、これまで以上に医療、介護、福祉の分野で地域に貢献できるように変化、成長できるように職員一同頑張ってまいりますので、本年も温かいご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

皆様方にとりまして、希望に満ちた明るい年となりますことをご祈念申し上げ、私からの年頭の挨拶とさせていただきます。

令和7年1月1日

# 総院長 年頭挨拶



社会医療法人 長門莫記念会  
長門記念病院 総院長

## 後藤 陽一郎

グボートを握る政党の意見に左右されるのではないかと危惧されます。今年の夏の参議院選挙によってその動向が明らかになるのではないかと思います。

さて、私事になりますが、私が、病院長に就任したのは平成15年(2003年)8月であります。かれこれ20年間余りが経過して、この度令和6年3月に退任の運びとなりました。この約20年間の病院の変遷を述べさせていただきます。

就任当時の常勤ドクターの数は、9名でありました。これだけでは、病院の医師定数を満たすには到底足りておりません。そのために、大分大学医学部をはじめ外部より多くの非常勤医師の派遣を受けることによって、満たすように努力しておりました。しかし、毎年の保健所による適時調査の際は、必ず定数不足を指摘されておりました。改善策を文書にて報告するのに、高橋法人本部長と共に無い知恵をしぼっておりました。しかし2014年に、長門仁氏(大分医大平成9年卒)が理事長に就任してからは、大分大学医学部も設立後36年が経過して、医大卒業生も多数となり、大分医大卒業生をはじめ多くのドクターが当院の常勤医として就職されるようになり、現在28名の規模となっております。診療科も内科の専門科にとどまらず、救急部、形成外科、リハビリテーション科、精神科など多岐にわたっています。

私の専門は呼吸器・感染症内科であります。当院では主に、職業性肺疾患であるじん肺症の方を中心に診療をさせていただいておりました。当初は1300人ほどの患者さんがおられました。多くの患者さんが疾病の進行や高齢によりお亡くなりになり、現在は200人を切るほどになっております。

職業性肺疾患(じん肺症)に罹患されております方は、肺病変は進行性であり、炎症性の不可逆的疾患であります。そのために、治癒・完治は期待できず、長期間の療養が必要であります。

しかし、規則正しい療養や治療薬の進歩によって、以前に比べると、長期生存が可能となっております。それ故に、じん肺症以外の疾患を併発したり、また高齢となって癌を合併したりすることも多くみられるようになりました。たとえ、どのような病態になっても当院で対応できますので、どうか御安心してご療養のほどお願い申し上げます。

『心からありがとうございました』

理事長の要請もあり、いましばらくは、総院長(理事)という役職で、病院の行く末を見守らせていただきたいと思います。

最後に、皆様にとりましても、楽しく笑えて健やかに、そして幸せな明るい令和7年でありますように、心から御祈念申し上げ、私の年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和7年1月 吉日

## 副院長就任挨拶



ながせ きみあき  
**永瀬 公明**

- **出身大学** 大分大学医学部
- **卒業年次** 昭和63年度
- **専門分野** 循環器内科所属学会等日本内科学会認定医  
日本循環器学会認定循環器専門医  
日本心血管インターベンション治療学会名誉専門医

2024年10月より副院長に就任いたしました永瀬公明です。私は1990年から3年間、2011年から1年間、そして2022年から約2年半、本院に循環器内科医として勤務して参りました。佐伯市は私が最初に赴任した時と比べ、人口が減少し、高齢化が進んでおり、医療・介護が大変重要となっています。

本院はこの地域の中核病院の一つとして重要な役割を担っていますが、今後は副院長として病院運営にも携わり、より良い医療・看護・介護を佐伯市内の方々に提供するよう努力していきたいと存じます。

本院の理念である「困っている人を助ける」をモットーに皆様からのご支援とご協力をいただきながら、地域の皆様に信頼していただける長門記念病院を目指していきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



いしかわ としのぶ  
**石川 敬喜**

- **出身大学** 大分大学医学部
- **卒業年次** 平成18年度
- **専門分野** 循環器内科・内科救急・冠動脈疾患・末梢動脈疾患
- **所属学会等** 日本内科学会認定内科医  
日本循環器学会循環器専門医  
日本心血管インターベンション治療学会専門医  
浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会実施医

この度、副院長の任を拝命いたしました。私は血管病が専門ですが、救急担当でもあります。「質の高い血管病治療」と、「断らない救急」の2つを2022年の赴任以来目標として掲げてきました。

現在では前者は市外・県外からの治療依頼も頂けるようになり、後者は救急搬入台数1000件以上と一定の成果は得られました。

しかしながら医療を取り巻く環境は絶え間なく変化し、それが地域へ与える影響はとどまることがありません。変わっていく医療情勢に対応し、支えてくれるスタッフとともに成長を続け、地域の皆様に還元できるよう進んでいきたいと思っております。若輩ですがよろしくお願い致します。

# 長門直Dr. 着任ご挨拶

ながと ただし  
**長門 直**



- **出身大学** 九州大学医学部
- **卒業年次** 平成7年
- **専門分野** 呼吸器内科・アレルギー科
- **所属学会等**

- |                               |                    |                     |
|-------------------------------|--------------------|---------------------|
| ●日本呼吸器学会呼吸器専門医                | ●日本病院総合診療医学会指導医学会  | ●日本感染症学会指導医・専門医・IGD |
| ●日本内科学会指導医                    | ●社会医学系専門医協議会指導医    | ●日本結核学会結核・抗酸菌症認定医   |
| ●総合内科専門医                      | ●日本救急医学会救急科専門医     | ●日本旅行学会認定医          |
| ●日本臨床内科医会専門医                  | ●日本蘇生学会指導医         | ●日本医師会認定産業医         |
| ●日本専門医機構総合診療医指導医              | ●日本アレルギー学会アレルギー専門医 | ●日本医師会認定健康スポーツ医     |
| ●日本プライマリ・ケア連合学会指導医            | ●日本喘息学会喘息専門医       |                     |
| ●日本化学療法学会抗菌化学療法指導医・抗菌薬臨床試験指導医 |                    |                     |

1月より、長門記念病院 呼吸器内科・アレルギー科で勤務しています長門直(ながと ただし)です。佐伯市出身、九州大学医学部卒業、岡山大学第2内科に入局、北部九州・広島県・東京の基幹病院に勤務してきました。

今までは、喘息を主とした気道炎症の勉強と研究、近年患者数が増加している非結核性抗酸菌症治療に尽力してまいりました。ガイドライン作成にも多く携わっており、エビデンスに基づいた診断・治療を第一に考え、診療にあたって参りますので、今後とも宜しくお願いします。

Vol.24

## ～日々向上心を持つ看護へ～

私の看護エピソード



私はこの病院に勤めて14年になります。当時の看護部長や親戚の看護師から今は医療関係の仕事をしたほうが良い、看護について学んでみないかと声をかけていただき看護助手として働き始めました。看護師の仕事を見ながら業務を行っていく中で、看護業務だけでなく社会人としてのマナーや接遇についても学んでいきました。准看護学生として病院でのアルバイトと勉学に励み、准看護師の資格を得ることが出来ました。資格を取るための学習の中で机上学習だけでなく、実際の病院で患者さんを受け持つ実習はとても大変でありましたが、患者さんを通して個性の看護や関わり方について学ぶことができました。1年目の私は看護技術や知識も全くなく毎日の業務に追われ身体的・精神的にも余裕のない毎日と思うような看護ができず悩む日々を送っていました。2年目に病棟が変わり新しい環境や様々な疾患を持つ患者様、取り扱ったことの無い器具など刺激の多い病棟で毎日充実した日々を送りました。知らない事が多いと自然に新しい事を調べ、学習する機会が増えて次第に少しずつ気持ちにも余裕が出てきました。

そして准看護師として10年間経験を積み、ステップアップとして看護師になるべく麻生看護大学校通信課程へ進学しました。通信過程では、日々自宅での学習や紙上事例になると仕事の両立は辛く大変ではありました。しかし、様々な経験をもった仲間と切磋琢磨しながら自分がまだ知らない事や他の看護観などを学ぶことが出来ました。さらに実習を通していろんな病院や施設を見学し、患者さんから様々な疾患や看護を学ぶことが出来ました。この2年間で患者さんへの看護だけでなく、看護教育・管理についてなど看護・患者を通して学ぶことで、今後も自分自身の知識や技術を習得していきたいと感じました。この2年は日々大変でしたが、あっという間に過ぎていき、得る物はとても大きな物でした。私自身まだまだ未熟であるため、今以上にたくさんの知識技術を習得し患者さんやご家族により良い看護が提供できるよう日々精進していきたいと思えます。

最後に自分のことを支えてくれた家族や友人や職場のスタッフに感謝します。

2A病棟 岩本 賢彦

# 緩和ケア インタビュー

2024年4月C館の新築に合わせて、新しく開設された「緩和ケア病棟」の坪根副看護部長（緩和ケア認定看護師）にお話を聞いてきました。

## — まずは「緩和ケア」が何か教えてください。

がん患者さんによる「緩和ケア」は、がんと診断されたときから行う、身体的・精神的な苦痛をやわらげるためのケアです。緩和ケア病棟は、がん患者さんのからだの痛みやこころのつらさを和らげるための専門病棟です。

## — ターミナルケア（終末期ケア）と緩和ケアの違いとは何ですか？

ターミナルケアは、がん患者さんに関わらず、病気の治療が困難となり、余生をその人らしく送ることを支援するためのケア

です。質の高い生活を支援するにあたり、からだやこころのケアに緩和ケアを行います。

## — 稼働し始めて約半年経過しましたが、今の率直な感想はどうですか？

スタッフが本当に頑張ってくれていると思います。緩和ケア病棟を経験したことがあるスタッフ、未経験のスタッフなど様々ですが、「緩和ケア病棟で緩和ケアを学びたい」という熱い思いを持ったスタッフ達です。切磋琢磨しながら同じ方向を向いて頑張っているスタッフ達に本当に感謝しています。

## — 当院の緩和ケア病棟の特徴はありますか？

今、感染症の問題で一般病棟では面会制限がありますが、緩和ケア病棟では自由に面会していただいています。また、条件はありますが、ペットの面会も許可することがあります。

オープンテラスはベッドのまま出ることができます。目の前には城山を望み、患者さんは外気浴を楽しんでいただくこともできます。春にはたくさんの山桜を鑑賞することもできます。

## — 患者さん、ご家族、スタッフの関係性はどうですか？

患者さんやご家族とのコミュニケーションは特に重要です。いろんなニーズや困りごとを的確に知るためにお話をよく聞き、理解するよう心がけています。

直接「何か希望はありますか？」と聞いても出てこない小さなことでも、ささいな会話の中でヒントがないか常に耳を傾けています。

現状、関係性は良いものを築けていると思っています。

## — 利用したいと思った際に相談はどうすればいいですか？

入院している患者さんに関しては、主治医から連携室のソーシャルワーカーへ相談します。

他院にかかっている場合は、かかりつけの病院の連携室から当院の連携室に相談していただければ大丈夫です。



ここからは坪根看護師自身の事についてお伺いしたいと思います。

### — なぜ緩和ケアの認定看護師になろうと思ったのですか？

一般病棟で勤務している時に緩和ケアに興味を持ちました。

ただ緩和ケアを行っていく際にしっかりとした根拠や何かわかりやすい信頼性が必要だと考えました。そのうえで緩和ケアを展開し、患者さんに対して提供していくためには、治療やケアにきちんと伝えるだけの知識や経験がないといけないと感じたことが、勉強したいと思ったきっかけです。

そんなことを考えていた頃に司農看護部長(当時は病棟看護主任)が皮膚・排泄ケア認定看護師を目指し、研修に行き始められました。このことが「私も認定看護師になりたい」という思いを触発し、認定看護師取得に向けて進み始めるひと押しとなりました。



### — 緩和ケアを行うにあたって大切にしていることは何ですか？

「緩和ケア」というと、がん患者さんのみが対象と思われがちですが、がんでなくても、入院している患者さんは、からだの痛み、こころのつらさ、自身の役割の喪失感など、どこかしらに痛みを伴います。WHOでは「緩和ケアは、病気がもたらす困難を抱える患者とその家族の生活の質を改善すること」と定義付けされています。「がんの患者さんが対象」とは謳われていません。だから私は、入院している全ての患者さんが緩和ケアの対象だと思い、様々な痛みに向き合うことを大切にしています。

### — 今後目指す理想や目標は何ですか？

長門記念病院といえば「緩和ケア病棟」と言われるように・・・緩和ケア病棟を長門記念病院の「顔」にしたいです笑

地域の皆さんや職員からも愛される病院を目指します。

本日はどうもありがとうございました。



# Nagato Information

## 事務担当職員の 制服廃止について

当院では、多様性を認める職場環境を整え、性差なく適性に応じて能力を発揮できる職場を実現するため、2024年8月より事務担当職員の制服を廃止しております。

職員は必ず名札を着用しております。何かございましたらお気軽にお声をかけてください。

## 会計の自動 精算化について

電子カルテシステムの変更を11月より開始しております。変更に伴い職員の不慣れな点もあるため受診患者の皆様には、ご迷惑をおかけすることがあると思いますがご理解いただけるようよろしくお願いいたします。

また、外来受診時のお会計につきまして は自動精算機を導入しております。利用方法などご不明な点がある際には、受付職員までお問い合わせください。

### 一般外来診療予定表

午前 診療時間 9:00~12:00 (受付 11:30まで)

診療科/曜日	月	火	水	木	金	土
呼吸器	後藤・長門直	後藤・三戸・長門直	後藤・三戸・長門直	—	三戸・長門直	—
脳神経内科	内田 予約制	三宮 予約制	三宮 予約制	藤岡 予約制	三宮 予約制	法化園(月1回) 予約制
消化器	長門仁	松本	—	長門仁	松本	長門仁
一般内科	児玉	安井・児玉	安井・児玉	児玉・清水	安井・児玉・稲垣	常勤医交代制
循環器	永瀬	—	永瀬	永瀬	—	後藤峻(月1回)
内分泌・糖尿病	—	—	—	—	—	佐田・渡邊(月2回) 予約制
脳神経外科	森田	山口 予約制	森田	山口 予約制	森田	—
泌尿器科	津江	津江	津江	—	津江	津江
外科	花井	花井	—	—	花井	花井(第2・4週)
形成科	—	木村	佐藤	佐藤・木村	—	佐藤
精神科 (物忘れ外来)	河原 予約制	河原 予約制	河原 予約制	河原 山内(第1・3週) 予約制	河原 予約制	—
整形外科※2	赤木・徳丸	手術日	赤木・徳丸	赤木・徳丸	赤木・徳丸	—
ペインクリニック(痛外来)	竹島 予約制	手術日	—	—	竹島 予約制	—

※1) 診療日はホームページ内「お知らせ」をご覧ください。お問い合わせ下さい。  
※2) 整形外科受付:7:30~10:30 午後は手術です。ただし緊急の患者はその限りではございません。

### 専門外来診療予定表 (受付7:30~)都合上、休診・変更になる場合がございます。

診療科/曜日	月	火	水	木	金	土
眼科	—	13:30~ (受付16:00まで)	—	—	—	9:00~ (受付11:30まで)
耳鼻咽喉科 (午後受付12:00~)	—	9:00~16:30 (受付11:00まで)	—	9:00~12:00 (受付11:00まで)	—	9:00~16:30 (受付11:00まで)
皮膚科	—	—	—	—	—	14:00~16:30 月2回 予約制

※3か月以上受診のない方や、前回とは別の症状で受診される方は、受付終了時間の30分前までに来院・受付してください。  
※「眼科」は曜日により、診療内容が異なります。詳しくはホームページ内「眼科のページ」をご覧ください。  
※「皮膚科」の診療日はホームページ内「お知らせ」をご確認ください。  
※「皮膚科」は診療人数に制限があります。ご予約はお電話にて承ります。

午後 診療時間 13:00~17:00 (受付16:30まで)

診療科/曜日	月	火	水	木	金	土
一般内科	安井	大野	清水・入江	森山	清水	日直医
循環器内科	—	石川	—	石川	永瀬	—
専門外来	三宮(物忘れ) 予約制 藤岡(脳神経内科) 予約制 三戸(禁煙) 予約制	—	藤岡(脳神経内科) 予約制 佐藤(レーザー)(第2・4週) 予約制	三戸(呼吸器) 予約制 後藤(呼吸器) 予約制 藤岡(脳神経内科) 予約制	藤岡(頭痛外来) 予約制	—
泌尿器科	検査	津江 予約制	津江 予約制	津江 予約制	津江 14:00~15:30	—
外科	花井	花井	花井	花井	花井	—
精神科・心療内科・ 物忘れ外来	河原 予約制	河原 予約制	—	河原 予約制	河原 予約制	—

※手術等の関係上、整形外科の午後の外来は電話などで確認して下さい。  
※土曜日(2・4・5週目)の午後の診療は休診です。  
※新患の方は受付終了時間の30分前までに来院・受付してください。

## 編集後記

年末年始はインフルエンザが大流行しました。冬場は感染症が流行しやすく、まだまだ常に注意が必要です。手洗い・うがいの徹底や、バランスの取れた食事・十分な睡眠を心がけ、元気に過ごしましょう。当院では、地域の皆さまの健康を支えるため、引き続き安心できる医療を提供してまいります。

寒さに負けず、心身ともに健やかな日々をお過ごしください。



企画広報室

社会医療法人 長門莫記念会  
**長門記念病院**

発行 / 長門記念病院企画広報室

〒876-0835  
佐伯市鶴岡町1-11-59  
TEL.0972-24-3000  
FAX.0972-23-6640



随時更新しています

長門記念病院

検索